

# Office 365を活用した市役所職員のワークスタイル変革 コミュニケーション基盤をA10 Thunder ADCが強化

#### 顧客名:

南アルプス市

#### 業種:

自治体

#### A10 のソリューション:

A10 Thunder 1030S ADC

#### 課題:

- PBXの保守サポート終了に伴う電話ネットワーク の刷新
- メールへの依存と職員間のコミュニケーション の過疎化
- ・ 従来型の電話システムでは大型装置や高価な 電話機の導入が必要

#### 導入効果:

- Office 365 を活用した新しいコミュニケーション基盤の導入
- ・職員のコミュニケーション活性化とワークスタイル変革
- ADC の導入により重要インフラの安定運用を 実現



南アルプス市役所 総務部 管財契約課 主査 塚原 賢氏



南アルプス市役所 総務部 管財契約課 副主査 飯野 慎太郎氏



岡田電機株式会社 第3営業部 部長 齊藤 清氏



株式会社YSK e-com ネットワーク事業部 ソリューション部



■ コミュニケーションの質を高める新しい環境を、

安定したネットワーク基盤で構築することができました"

南アルプス市 総務部管財契約課 主査 **塚原 賢氏** 











山梨県西部に位置し、国内第2位の標高を誇る北岳をはじめとした南アルプスの名峰を臨む、南アルプス市。その市庁舎では、これまで利用してきた PBX (構内交換機)の保守切れに伴いコミュニケーション基盤の刷新を計画。コミュニケーションの活性化とワークスタイル変革につながる環境作りを目指し、「Skype for Business (旧称: Lync)」を導入しています。 Skype for Business の呼制御サーバーや、クラウドサービス「Office 365」の認証基盤の負荷分散装置として、A10ネットワークスが提供する次世代アプリケーションデリバリーコントローラー「A10 Thunder® ADC」が採用されています。

#### 課題:職員のコミュニケーション活性化を目指したインフラの刷新

中巨摩郡にある6つの町村が2003年に合併して誕生した南アルプス市。甲府盆地の西部に位置する同市は、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的としてユネスコが承認している「ユネスコパーク」エリア内にあり、北岳をはじめとした3000m峰が連なる南アルプスの大自然が広がる日本有数の山岳エリアを備えています。

そんな南アルプス市では、合併した当時に各支所との間をつなぐ内線電話網をIP電話によって整備し、運用を続けてきましたが、2015年に既存PBXの保守サポート期限を迎え電話ネットワークの見直しの必要に迫られていました。また、各部署がメールを中心とした連絡手段に頼り過ぎてしまうなど、意思疎通が過疎化する課題も顕在化していました。そこで、職員同士のコミュニケーションを活性化させるためにも、庁舎内のコミュニケーション基盤全体を刷新することになりました。「当時は新しい市役所庁舎の建設計画も持ち上がっていたこともあり、できれば手間なく移行しやすい環境に整備しようと考えました」と南アルプス市役所 総務部管財契約課 主査 塚原 賢氏は当時を振り返ります。そこで注目したのが、マイクロソフトが提供するユニファイドコミュニケーション(UC)サービス「Skype for Business」です。

#### 検証: 導入実績や Skype for Business 環境での機能試験が安心材料に

新たなコミュニケーション基盤を検討する中で前提となったのが、PC上にインストールされたソフトフォンによる電話ネットワークの構築でした。外線を含めたすべての電話を Skype for Business で構築するのは自治体としても先進的な取り組みであり、大きなチャレンジになりました。「運搬するだけでも苦労する大型 PBX や 1 台数万円もする固定電話機を導入するのではなく、可能な限り"持たない"インフラの導入を考えました。そこでソフトフォンを中心としたコミュニケーションネットワークの刷新を入札要件として掲げたのです」と塚原氏。

複数企業が入札に参加する中で選択されたのが、以前から南アルプス市 のインターネット部分の運用保守を手掛ける株式会社 YSK e-com と、外 線部分のボイスゲートウェイや各種ネットワーク機器の提供から技術支援 を行う岡田電機株式会社でした。「当初は Skype for Business 単独の利 用を予定していましたが、今後も長くお使いいただけるよう、将来的な用 途拡大に対応できる環境作りを行いました」と株式会社 YSK e-com ネット ワーク事業部 ソリューション部 課長 石原 旭氏は語ります。

岡田電機株式会社 第3営業部 部長 齊藤 清氏は、「A10ネットワークス とは以前からお付き合いがあり他のお客様への納入実績があっただけ でなく、我々のパートナーが Skype for Business と A10 Thunder ADC に よる試験を終え良い評価が出たタイミングでしたので、サポート体制を 含め自信をもって提案することができました」と言います。このような提案 が評価され、同市の電話ネットワークの安定稼働を支援する基盤として A10 Thunder ADC の採用が決定しました。

#### ソリューション: A10 Thunder ADC によるサーバー群の可用性 向上とWebアクセス高速化

A10 Thunder ADCは、アプリケーションの高速化や可用性の向上を実 現しながら、WAF (Webアプリケーションファイアウォール) や、DDoS 防 御など高度なセキュリティ機能を実装した次世代アプリケーションデリバ リーコントローラー(ADC)です。

南アルプス市では、当初 Skype for Business 単独の利用を予定していま したが、さまざまな手段を用いてコミュニケーションが図れるよう、クラ ウドサービスOffice 365全体を利用し環境を整備することになりました。 現在、メールシステムやスケジュール管理、設備予約として Exchange Online を、庁内インフォメーションとして Yammer を利用しています。

この新しいコミュニケーション基盤で、A10 Thunder ADCは、内線電話 の呼制御を行う3台のフロントエンドサーバーの負荷分散に加え、Office 365との接続に不可欠な認証基盤であるADFSサーバーの負荷分散 やWebアクセス時のリバースプロキシとして導入されています。2台の A10 Thunder 1030S ADC がアクティブ・スタンバイの冗長構成で稼働して おり、Webアクセス時のSSL処理を高速化する役割も担っています。

A10 Thunder ADC は、独自OS「ACOS\* Harmony プラットフォーム」の持 つ共有メモリーアーキテクチャーにより高いパフォーマンスを発揮し、大量 のセッション処理が必要となる Office 365 においてもトラフィックの負荷を 解消、快適な利用環境を実現することが可能です。 \*Advanced Core Operating System

### 導入効果:新しいコミュニケーション基盤の安定稼働を下支え

現在、南アルプス市では、市庁舎で働く850名あまりの職員がSkype for Business を電話として利用しており、ボイスゲートウェイを設置することで 内線電話だけでなく外線電話もすべてソフトフォンに集約しています。ま た、座席表から相手のプレゼンス状態が確認でき、そこから直接電話やメー ルが可能な仕組みを用意することで、ソフトフォンの操作に不慣れな職員 でも悩むことなく確実に電話できる仕組みを実現しています。塚原氏は「内 線電話の利用が活性化することで、コミュニケーションの質を高めることが できました。また、ソフトフォンに切り替えたことで、人事異動や座席移動 など環境変化にも負担なく対応できるようになりました。」と評価します。

このように、同市にとって止めることができない重要なインフラとなった Office 365 を支えているのが A10 Thunder ADC です。A10 Thunder ADC の実現する高いパフォーマンスによって Office 365 は安定稼働しており、 日本語に対応したWeb GUIによる操作もわかりやすいと評価されてい ます。「GUIだけで設定が可能なだけでなく、Skype for Business 環境で

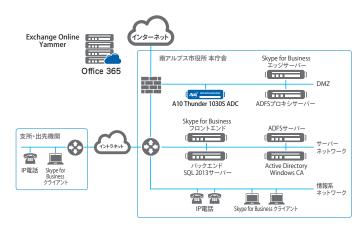


図 1: Office 365 および Skype for Business を構成するサーバー群の 負荷分散機能やリバースプロキシ機能をThunder ADC が提供

A10 Thunder ADC を活用するための構築ガイドなどの技術資料も用意さ れています。日本語で書かれた手順書が設定、運用に役立っています」と 齊藤氏は語っています。

#### 今後の展開:高品質な住民サービスを実現するインフラ整備に向けて

今後については、「まだOffice 365の機能をフルに活用しきれていませ ん。せっかく手に入れた環境ですので、ワークスタイル変革につながるよう 有効活用していきたい」と南アルプス市役所 同課 副主査 飯野氏は語りま す。Skype for Business はスマートフォンからも活用できるため、同市では BYOD化を進め、土木部署などで現場にいる職員もスマートフォンから内線 電話がかけられるような環境を整えていく計画を立てています。また、市内 に点在する支所にテレビ電話を設置して住民からの問い合わせや相談に本 庁舎の専門職員が直接対応したり、議会中継のインフラとして利用するな ど、Office 365 を高品質な住民サービスの提供につなげていく予定です。

A10 Thunder ADC に関しては、活用が拡がる Office 365 の安定稼働に引 き続き信頼を寄せつつ、次回のシステム更改時には仮想環境での負荷分 散を可能にする「A10 vThunder® ADC」にも期待していると齊藤氏は語っ ています。職員同士のコミュニケーション活性化に大きく貢献している A10 Thunder ADC。これからは地域住民とのコミュニケーションの質を高 めていく活動を支えることを期待されています。

#### A10 Networks / A10 ネットワークス株式会社について

A10 Networks (NYSE: ATEN) はアプリケーションネットワーキングおよびセ キュリティ分野におけるリーダーとして、高性能なアプリケーションネットワー キングソリューション群を提供し、お客様のデータセンターにおいて、アプ リケーションとネットワークを高速化し可用性と安全性を確保しています。 A10 Networks は2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼ に本拠地を置き、世界各国の拠点からお客様をサポートしています。

A10ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の 意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワーキン グソリューションをご提供することを使命としています。

詳しくはホームページをご覧ください。

www.a10networks.co.jp

Facebook: http://www.facebook.com/A10networksjapan

(記載された内容は2016年6月時点の情報です。)

#### A10ネットワークス株式会社

〒106-0032

東京都港区六本木三丁目2番1号 住友不動産六本木グランドタワー33階 TEL: 03-4520-5700

FAX: 03-4520-5701 iinfo@a10networks.com www.a10networks.co.ip

Part Number: A10-CS-city.minami-alps-JA-01 Jul 2020

#### 海外拠点

北米 (A10 Networks本社)

sales@a10networks.com

ヨーロッパ

emea\_sales@a10networks.com

latam\_sales@a10networks.com

中国

china\_sales@a10networks.com

### 香港

HongKong@a10networks.com

#### 台湾

taiwan@a10networks.com

#### 韓国

## korea@a10networks.com

南アジア

SouthAsia@a10networks.com

オーストラリア/ニュージーランド anz\_sales@a10networks.com

お客様のビジネスを強化するA10のアプリケーションサービス ゲートウェイ、Thunderの詳細は、A10ネットワークスのWeb サイト**www.a10networks.co.jp**をご覧になるか、A10の営業担 当者にご連絡ください。

©2016 A10 Networks, Inc. All rights reserved. A10 Networks、A10 Networksロゴ、ACOS、ThunderおよびSSL Insightは米国およびその他各国におけるA10 Networks, Inc. の商標または登録商標です。その他の商標はそれぞれの所有者の資産です。A10 Networksは本書の誤りに関して責任を負いません。A10 Networksは、予告なく本書を変更、修正、譲渡、および改訂する権利を留保します。製品の仕様や機能は、変更する場合がございますので、ご注意ください。 商標について詳しくはホームページをご覧ください。www.a10networks.com/a10-trademarks